で言えば、 東南アジアでも日本と同 間を持っている。勤勉さ 文えてきたと言われる。 も例のないような成長を 山は何なのか、 が戦後の荒廃から目覚ま 進路を考える前に、日本 本人の勤勉性が、 しみたい。 しい経済発展を遂げた理 これからの日本経済の 私はそれには疑 欧米や中国 一般的には日 を分析し 世界で 者は、まず自分の利益や くなるとより一層、会社 個人主義の強い国の勤労 のために努力する。だが、 は、会社に一体感を持っ だと思う。 日本の勤労者の多く

外国人の決定的な違い 多い。日本人とこうした じように勤勉で努力家が 集団主義と個人主義 社に移ってしまう。 日本のように社員が会 行政・経済改革の展望~時代を拓く新日本の構築

めに頑張り、会社が俗なり、具体的で分かりやす足りず、輸出大国となっている。会社の発展のた織は非常に効率的となく、国内だけでは市場が 日本経済は「欧米に追い、諸外国と経済摩擦が生、さまな要因が重なったもの力を発揮する。戦後のモーところがその過程で膨、パブル崩壊後の長期不完から再興を期した。大な貿易原学が発生し、は、不良債権問題などでま の中では、ある意味で組織を抱いている企業風土 い目標があれば、大きなた。 た。その勢いばすさまじ

つけ、迫い越せ」とモノ 事態になり、自分で自分の晩で利益が吹き飛ぶような は高いが、為替の変動で一まった。日本企業の収益性 じ、急激な円高を招いてし 首を紋める結果になった。

社に対して運命共同体意

たろうが、私は円高が一番後が適正といわれている。

こたえていると思う。

P (国民総生産)の約三〇

だ高すぎる。欧米先進国でいから、経済の環境がおかべる占めるが、これでもまめるサービスの提供が少な 済システムに改めていくべ、渡った消費者は、次にサー きだ。日本の製造業はGNビスを求めるようになる。 存体質から内帯喚起型の経・電製品や自動車などが行き

は、製造業比率は二〇%前 しくなってきている。

たが、日本では消費者が求 製造築が発展し人々の生

ともに、 っている。 働く大きな紐用の場にもな えない。内衛を喚起すると ズニーランドは入園者が絶 いわれた。だが、東京ディ

界一だが、サービス築とな 工場内の生産性の高さは世 だ。自動

・産業で

言えば の創出と同時に、 ーピス業の質の向上も課題 さらに新しいサービス楽 既存のサ

に合理的な消費行動が徐 も強まっている。 たうえ、規制緩和の流れ 々に見られるようになっ しかし、 の発展を阻害している。 などが高く、サービス学 運賃、企融機関の手数料 若い世代を中心

が、気になるのは、その出が期待されている。だ 摩擦という観点からだけ 出せていない点だ。登易 製造築的な発想から抜け 値化や新技術の開発など ビジネスなど新選業の創 まり感から、 方向性が製品の高付加価 日本では経済の行き詰 ベンチャ

ていく必要がある。輸出依 振さいう現象が担こる。家 ビス楽はまず成功しないと、日本では四~五台に過ぎて、パランスの取れた構造にし、りにモノがあふれ、消費不 時、日本ではこういうサー 売台数は約:〇台だが、パランスの取れた構造にし、近が築かになると、身の回 ニーランドが整備された。ゼールスマンの月平均販 と、一数年前に東京ディズ 約五千人もの人が 率が落ちる。 低い。アメリカの自動卓

あまり重視しない。こう ない。アメリカではショ 制なども加わり、 消費者負担となることを 件質や経費が、 てくるセールスマンの人 も悪い面がある。訪問し 訪問販売が主体のため効 動が行われるが、 価格や保険料、国内航空 した消費行動に各種の規 これは日本の消費者に ムですべて営業活 最終的に もかかって最大公約数的 対策を練った結果、何年

方がよい

付いていくかにかかって にどれだけ個人主義が根 独創性や創造力を生み出 とした時代を迎えた今 していくには、日本経済 立てにくい提施(とん) 団としての明確な目標の 失敗もあるだろうが、 に移行してもらいたい 決めていく経済システム 胆な発想で機酸に物事を 個人の主体的な判断や大 的な機並び意識は捨てた のではないか。

多摩大学学長。G・クラーク氏

多摩大学学長が「行政・経済改革 開かれた。グレゴリー・クラーク 会が十三日、

岡山市内のホテルで

長・松谷健一郎中国電力常任相談 などに取り組む中国生産性本部(会

の創立四十周年記念特別講演

人間尊重を理念に企業体質改善

年から現職。著書に「誤解される日本人」など。 九拉

MDAの現状とこれからの地域ボ ジア医師連絡協議会)代表が「A 本の構築」、菅波茂AMDA(ア の展望~時代を拓(ひら)く新日 岸 が見る 当 P

性本部の創立40周年記念

りがとう」が双方向で使 頼が得られるのは、

あ

働いたためだろう。フラ

からの親切も深直に受け ンス、韓国など百数カ国

ポランティアを一緒に

しかあり得ないだろう。

自分も社会から必要と

合関係者ら約二百人が熱心に聞き 参照した岡山県内の企業や労働組 ランティア活動」と題して講演、 人った。以下は両氏の講演要旨。

て世界を見た場合、アメ の活動を通し

AMDA代表 管波

流になっていると思う。 う

ラルに関する暗黙の了解 ってやれという、つのモ 徳とされ、良いことは黙 言実行」という姿勢が美 という言葉が当てはま の概念では、「有言実行」 明」だ。われわれ日本 ているのが「責任」と「説 で、最近特に重要視され アメリカが示す基準の中 日本はこれまで、「不

リカの基準が価値観の主

土 る。説明なき親切というが、番嬢われ、警戒され のは何か衷があるのでは

リツィン大統領は受け取 救援物資を送ったが、エ 際、日本政府は被災地へ サハリン州の大地震の ないかと勘ぐられてしま 一九九五年、ロシア・

は「なぜ救援物資を送る も理解される。人間関係 勢を着実に実施していく思う。「有言実行」の姿 のか」との趣旨を相手に を築く上でも重要なこと れ、世界中どこにいって ことで尊敬と信頼が得ら 説明できなかった点だと

AMDAの現状とこれからの地域ボランディア活動 っとは、例えば、立派な建 流と超一流は決定的に違 行っていて思うのが、一 通路などの改造経費をか 物を建てた際、トイレや いろいろな支援活動を もう一つは、 尊敬と信頼が得られるか、 た時、 体、組織は何だろうと考え 指す。 ような哲学があるところを 一つは世界に対して ハンディを持

けてでも、

ハンディのあ

る方を**雇用**しようという

たいと希望するかだろう。 った。弱者がそこに勤め

に考えている。

けたのは相互扶助思想が を超す人が

神戸に

駆け付

く調べる必要があろう。

いを駆め合うことが大

十一世紀に生き残る団はキリスト教、イスラム教、 互いが尊敬と信頼を保つた めには、どうすべきかを常ていく、連いは財産。とい いろな宗教が混在する。お ヒンズー数、仏教などいろ 支部があるが、メンバーに 大切ではないか。 は、違いを認め合うことが 一的な価値判断を徹底し、 ームを派遣した時、パングそういう職場環境にするに 兵政策の一貫した教育で調 難民が出たジプチへ医療チ AMDAには二十カ国の

るだろう。

う考え方が必要になってく ている。お互いに認め合っ らない多様性の世界に入っ き、成果を上げなければな 教が異なる人と一緒に動 考えが主流を占める。世界 の情勢を見ると、国籍や宗 "違いはお荷物、だという た。

がある。このうち尊敬、

いという医者の職業的倫理 ラデシュの医師は下痢治 とパートナーシップで実現 している。例えばソマリア AMDAは多様性の共存 ナーシップの三種類

ップ、スポンサーシップ、 人間関係にはフレンドシ 療、ネパールの医師は住民 助活動に大きな効果を上げ れぞれ能力を発揮し、 への衛生教育の分野でそ 撄

いたが、大震災で百万人 ランティアは認知されて ない。その中で、唯一数 阪神大震災のときだ。そ まれたのは一九九五年の 人ボランティアが盛り込 アだろう。 カリキュラムの中で、 かし小、中、高校などの れ以前も町内会や婦人 ような教育が成されてい いは財産。と認識し合う 珍しい民族だと思う。 時はお互いさまという相 無意識のうちに、困っ いとなるのがボランティ 丘扶助思想を持っている 人権とは何かを理解し 日本人の行動規範に個 子供会などの団体ボ は財理。ということ。遊 その関係を培え っているから財産という アの行き奇く先は。違い めではない。ボランティ 傾付けていくことが大切 としてボランティア在位 くことが一番だと思う。 感を持った人間関係を築 八生を受かにできるだろ ボランティアは人のた 視点を持つことで

当に納得してくれるか良 どんな論理なら相手が本 でさまざまな価値観を持 った人が入ってくるグロ 今後、日本も、多国語

が厳しく、製造業中心の 価格、品質の両面で中国 でなく、製造業の分野は

レジャー産業を例にとるる自動車販売の生産性は

が多い 掛けて検討委員会を作り 対策で日本は何をした が、例えば世界的に競争 ス分野でベンチャーピジ 海拡大につながるサービ 経済活性化は危険な要素 が激化している情報産業 ネスの登場が望まれる これからの日本は、内 国が有力企業に呼び

も、日本独特の集団主義 ならなかった。 で時代遅れの内容にしか もうそろそろ図も企業

初受賞。医療法人アスカ会理事長。著詩に「AMDAの提言」など。北十處。 Gの組織・AMDA設立。九五年、関連のプトロス・ガリ賞を日本人として すがなみ・しげる。 岡山大医学部大学院修了。 一九八四年、人道援助のN

こそ、違いを超えてパー

できる場が求められる。 イドが持て、 に立ちたい されている」「他人の役 そのためには、お互いが

いじめや職場内での誹謗 感が生まれる。学校内の

能力を発揮 というプラ

が得られ、

心理的に安定

とされているという実感 することで、自分は必要 入れることができた。

を培うことができる。

日本人は教育によって

いくためには移敬と情頼

社会の生産性を上げて

トナーシップの人間関係

ろう。

い環境の解決に役立つだ (ひぼう)、中傷など悪